

いつもJA津安芸をご利用頂きありがとうございます。
JA津安芸管内の農業情報や農業を営む担い手の皆様に
少しでも役に立つ情報をお届けさせていただきます。

今年は暖冬のため、生育が良い圃場は生育抑制させる為に早めの麦踏みをして！

今年は、エルニーニョ現象の影響で暖冬の気象経過になっています。

11月の津市の気温推移は、最高気温が18℃前後の日が多く、
最低気温も10℃～15℃と平年の同時期の最高気温くらいの
暖かい日が続きました。播種時期によっては、暖かったことから
生育が早く進み生育抑制する為に、早めの麦踏みが必要になってきます。



麦踏みと麦の生育

麦踏みをすることにより、後から出てくる茎葉は硬くて短く、根が良く伸び耐寒性が増します。
麦踏みは成長を遅らせるとともに分けつを促進させます。また、土壌を鎮圧するため、麦の根の
浮き上がりが防止され倒伏防止になります。

麦踏みの時期

麦踏みの時期については、3枚目の葉が出てきてから茎立ち前（節間伸長開始）までに行い、麦を痛
め過ぎないように、圃場が乾いた条件で15日～20日間隔で2～3回作業を実施します。

特に、暖冬の年では生育過剰気味になるので、麦踏みを実施して下さい。

※過湿土壌で湿害の恐れがある場合や遅播きした麦は生育をさらに遅らせてしまうので、麦踏み
の回数を減らしたり麦踏みをやめるのも方法のひとつです。

小麦追肥資材

暖かい気象条件により、小麦の生育が早くなっている圃場もあります。一発肥料の方は、肥え切れなど葉
色が薄い場合は、つなぎ肥（窒素2～3kg/10a）をして下さい。肥料を分施で行っている方は、通常の
追肥以外につなぎ肥（窒素2～3kg/10a）をして下さい。

オススメ

小麦追肥専用のNK化成-C26を10kg施用すれば、窒素2.2kg施用できます。

湿害対策

小麦追肥専用
NK化成-C26
(N22-P0-K6) 20kg



春先、近隣の水田に水が入り始めた頃にせつかく順調に生育した麦が 湿害で枯れてしまわないよ
うに 今の時期に、降雨後に排水状況を点検し明渠などの補修をしましょう。